

報道関係者各位

2013年11月15日

大学短大進学者が進学先を検討する際のポイント
**「学べる内容」を重視。
「取得できる資格」への関心が高まる。**
高校卒業者調査「2013高校生白書」より

株式会社JSコーポレーション（本社：大阪市北区 代表取締役社長：米田英一）は、今年の春の高校卒業者を対象に、進学先の検討時期や基準など、進路に関するアンケート調査を実施いたしました。この度集計結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

■進学先を検討する際のポイントについて

大学短大進学者の7割弱が「学部・学科・コースの内容」を重視 →P3

パンフレット、ホームページも「学部・学科・コースの内容」に注目 →P4~5

- ・進学先検討基準は、1位「学部・学科・コースの内容」(71.62%)、
2位「偏差値・学校レベル」(31.18%)。
- ・パンフレットの注目ポイント1位は「学部・学科・コースの内容」(74.66%)。
- ・ホームページの注目ポイント1位は「学部・学科・コースの内容」(46.68%)。

「取得できる資格」「学校独自の学習システム」への関心が高まる →P3

- ・進学先検討基準の3位「取得できる資格」(31.10%)、
13位「学校独自の学習システム」(10.31%)が2年連続で増加。
- ・パンフレットの注目ポイント2位「取得できる資格・実績」(45.80%)が、前年より増加。

■学費・奨学金について →P6

大学短大進学者の7割弱が、学費面を考慮して進学先を検討
考慮した内容で最も多のが「自宅から通える学校を選択した」

- ・学費面で考慮した内容は、1位「自宅から通える学校を選択した」(39.41%)、
次いで「できるだけ学費が安い学校を選択した」(21.02%)。

大学短大進学者の4割が、日本学生支援機構の奨学金を利用

- ・「大学短大進学後に申し込み」(11.19%)、「高校在学中に申し込み」(31.18%)、
合わせて42.37%が利用。

■出願について →P7

大学短大進学者の3人に1人が、出願予定校以外へ出願
出願予定校以外へ出願した理由は「担任の先生からのアドバイス」

- ・出願予定校以外へ出願した理由は、1位「担任の先生からのアドバイス」(33.58%)、
2位「センター試験の結果が悪かったから」(25.56%)、
3位「家族・親戚からのアドバイス」(18.05%)。

【調査概要】

■調査対象

全国47都道府県の2013年3月高校卒業者

■調査方法

郵送調査法

■調査期間

2013年5月15日～6月3日

■集計内容

高校卒業者を対象に、進路に関するアンケート調査を小社独自で実施いたしました。

大学短大進学者の設問ごとの集計結果を掲載いたしました。

※一部の複数回答の設問において、全回答数を母数とした割合として集計していたものを、
回答者の数を母数とした集計に変更しています。

■サンプル数

1,251名（大学進学者 1,089名 短大進学者 162名）

<参考>

□2012年同調査概要

- ・調査対象：全国47都道府県の2012年3月高校卒業者
- ・調査期間：2012年4月27日～5月22日
- ・サンプル数：4,091名（大学進学者 3,675名 短大進学者 416名）

□2011年同調査概要

- ・調査対象：全国44都道府県の2011年3月高校卒業者
※東日本大震災の影響を考慮し、岩手県・宮城県・福島県を除いた調査といたしました。
- ・調査期間：2011年5月20日～6月3日
- ・サンプル数：4,714名（大学進学者 4,219名 短大進学者 495名）

進学先を考えるにあたっての検討基準

■進学先検討基準1位は「学部・学科・コースの内容」

- ・進学先検討基準は、1位「学部・学科・コースの内容」(71.62%)、2位「偏差値・学校のレベル」(31.18%)、3位「取得できる資格」(31.10%)。

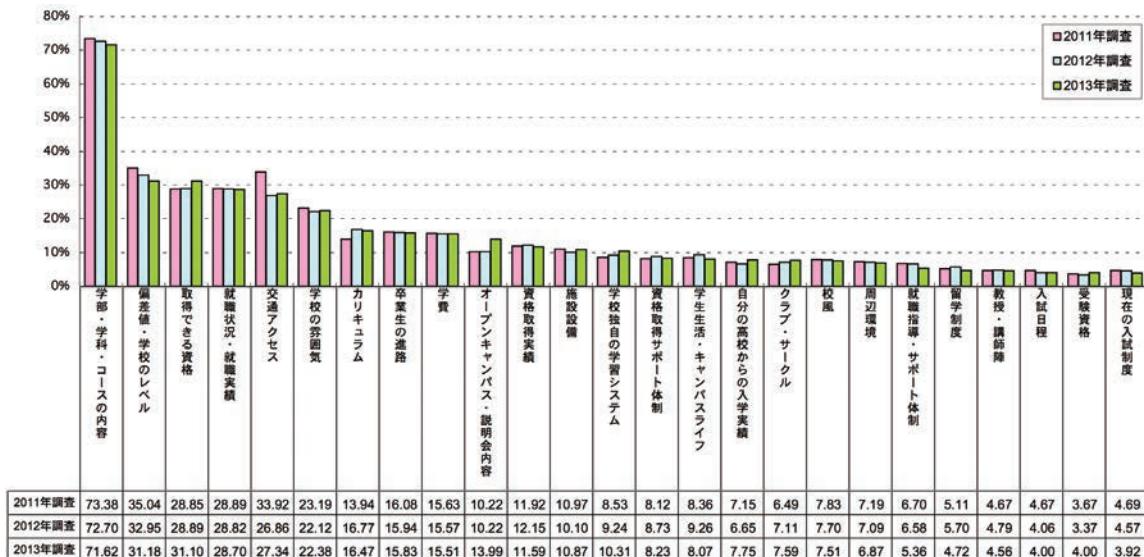
■「取得できる資格」「学校独自の学習システム」が、2年連続で増加

- ・「取得できる資格」2011年 28.85% → 2012年 28.89% → 2013年 31.10%。
- ・「学校独自の学習システム」2011年 8.53% → 2012年 9.24% → 2013年 10.31%。

■前年調査より「オープンキャンパス・説明会内容」が増加

- ・前年調査より3.77ポイント (10.22% → 13.99%) 増加。

■進学先検討基準（複数回答）



パンフレット、ホームページの注目ポイント

■注目ポイント1位は「学部・学科・コースの内容」

パンフレットの2位は「取得できる資格・資格取得実績」

ホームページの2位は「オープンキャンパス・説明会の開催情報」

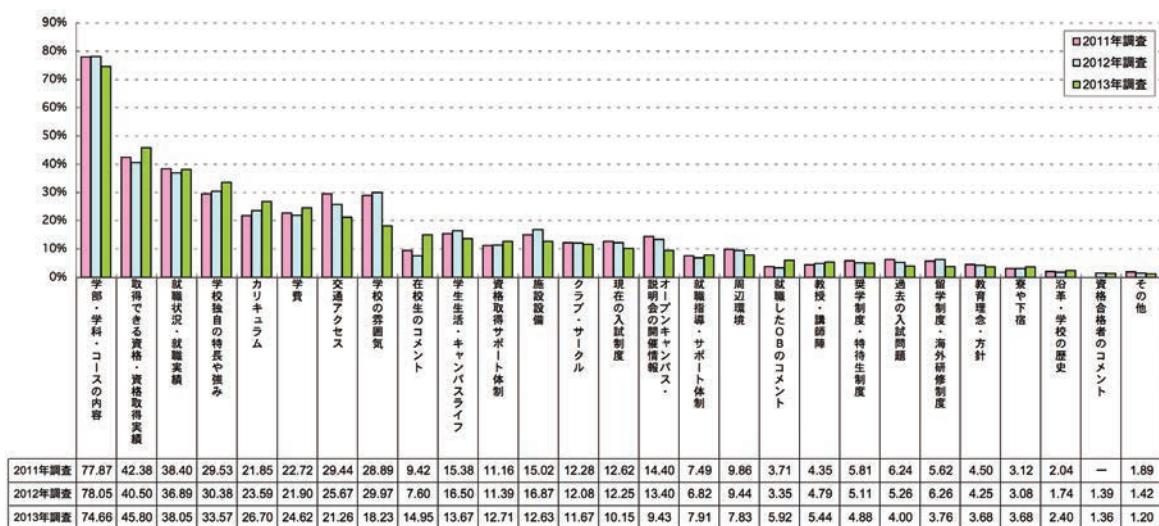
- パンフレットの注目ポイント1位「学部・学科・コースの内容」(74.66%)、
2位「取得できる資格・資格取得実績」(45.80%)、3位「就職状況・就職実績」(38.05%)。
- ホームページの注目ポイント1位「学部・学科・コースの内容」(46.68%)、
2位「オープンキャンパス・説明会の開催情報」(31.33%)、3位「交通アクセス」(27.34%)。
- 前年調査より3.77ポイント (10.22% → 13.99%) 増加。

■パンフレットでは「学校独自の特長や強み」「カリキュラム」への注目が高まる

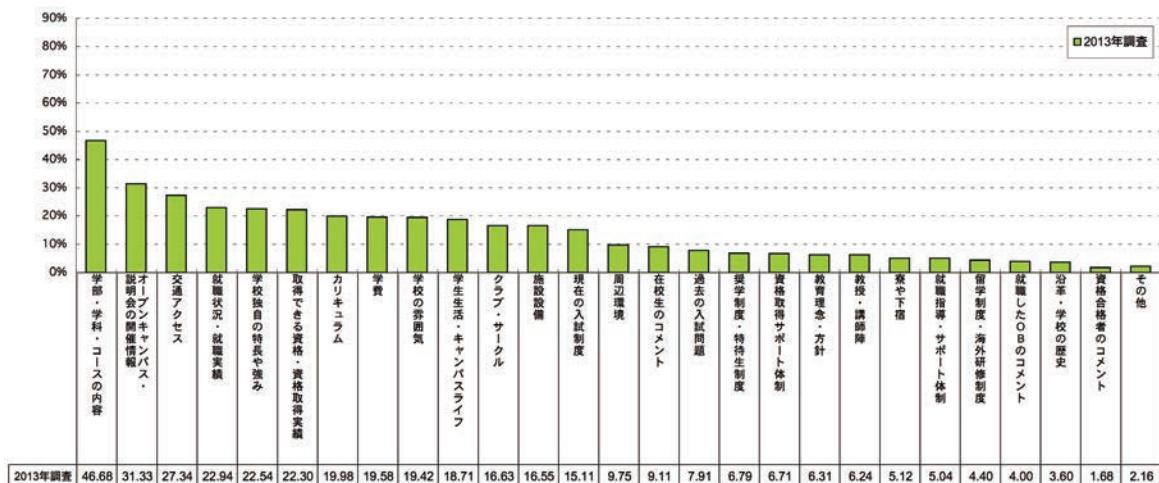
「学校独自の特長や強み」11年 29.53% → 12年 30.38% → 13年 33.57%。

「カリキュラム」2011年 21.85% → 2012年 22.72% → 2013年 23.57%。

■パンフレットの注目ポイント（複数回答）



■ホームページの注目ポイント（複数回答）



良かったと思うパンフレット、ホームページの特長

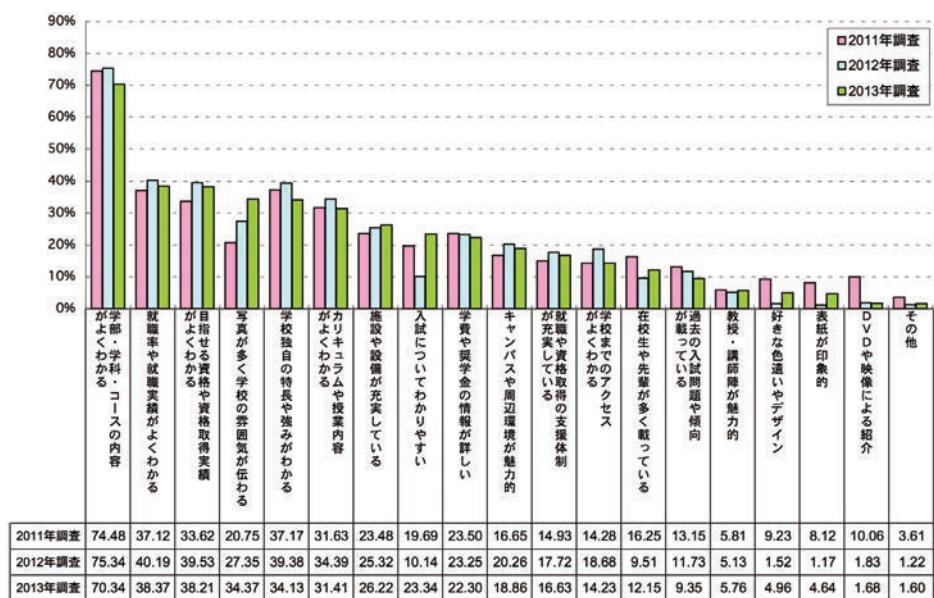
■トップは「学部・学科・コースの内容がよくわかる」 パンフレットの2位は「就職率や就職実績がよくわかる」 ホームページの2位は「学校独自の特長や強みがわかる」

- パンフレット 1位「学部・学科・コースの内容がよくわかる」(70.34%)、2位「就職率や就職実績がよくわかる」(38.37%)、3位「目指せる資格や資格取得実績がよくわかる」(38.21%)。
- ホームページ 1位「学部・学科・コースの内容がよくわかる」(56.20%)、2位「学校独自の特長や強みがわかる」(31.49%)、3位「カリキュラムや授業内容がよくわかる」(28.38%)。

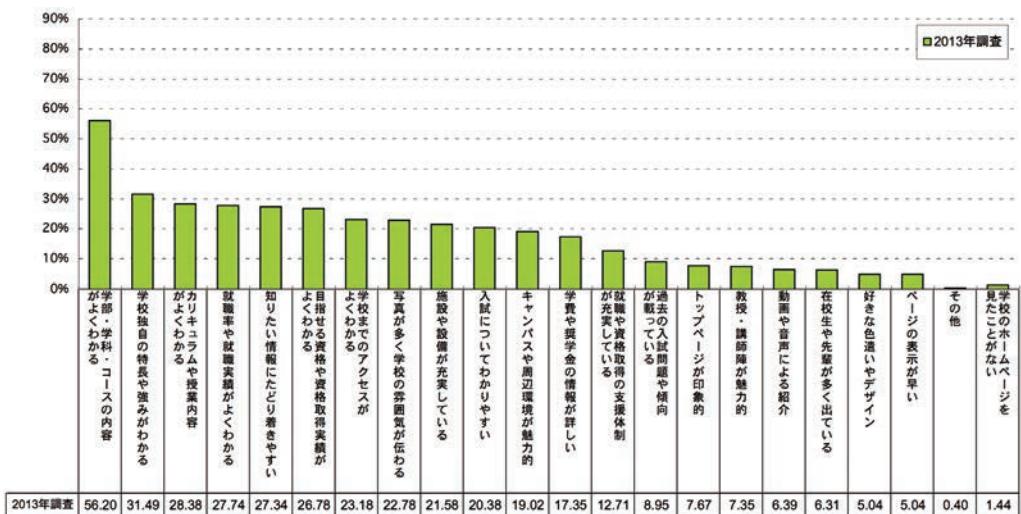
■パンフレットでは「写真が多く学校の雰囲気が伝わる」が、2年連続で増加

- 2011年 20.75% → 2012年 27.35% → 2013年 34.37%と、2年前から13.62ポイント増加。

■良かったと思うパンフレットの特長（複数回答）



■良かったと思うホームページの特長（複数回答）



進学先を考える際に学費面で考慮したこと

■学費面で考慮したことで最も多いのが「自宅から通える学校を選択した」

- ・学費面で考慮したことは、1位「自宅から通える学校を選択した」(39.41%)、
 2位「できるだけ学費が安い学校を選択した」(21.02%)、
 3位「奨学金や学費支援制度が利用できる学校を選択した」(17.83%)。

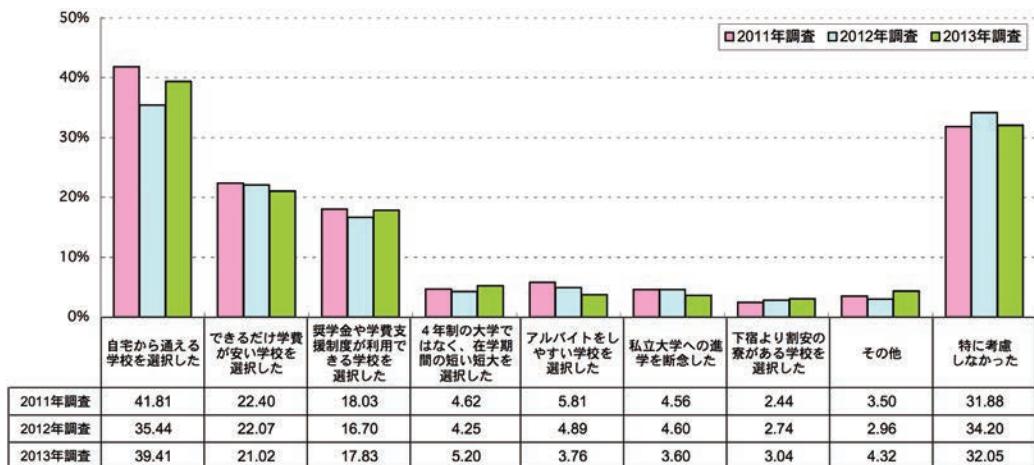
■大学短大進学者の3割は「特に考慮しなかった」

- ・前年調査より2.15ポイント (34.20% → 32.05%) 減少。

■大学短大進学者の4割が、日本学生支援機構の奨学金を利用 高校在学中の申し込みが、2年連続で増加

- ・入学後の学費負担を軽減するための制度として、「日本学生支援機構の奨学金を利用している」が42.37%。
 ・「高校在学中の申し込み」2011年 29.04% → 2012年 30.09% → 2013年 31.18%と、
 2年前から2.14ポイント増加。

■進学先を考える際に学費面で考慮したこと（複数回答）



■入学後の学費負担を軽減するために利用している制度（複数回答）



出願予定校以外への出願経験とその理由

■学短大進学者の3割が、出願を予定していなかった学校へ出願

- ・進学先を検討し始めた当初は出願を予定していなかったが、最終的に出願した学校がありますか。
「ある」31.89% 「ない」66.67%

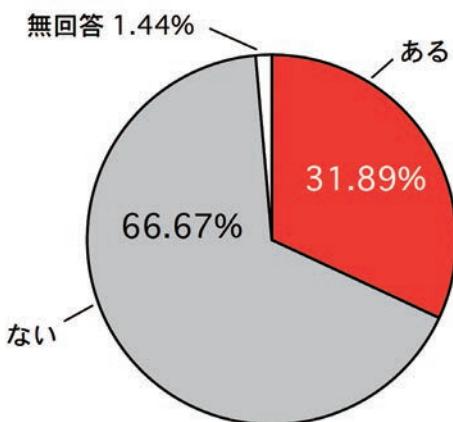
■出願予定校以外への出願理由1位は「担任の先生からのアドバイス」

- ・出願予定校以外へ出願した理由は、1位「担任の先生からのアドバイス」(33.58%)、2位「センター試験の結果が悪かったから」(25.56%)、3位「家族・親戚からのアドバイス」(18.05%)。

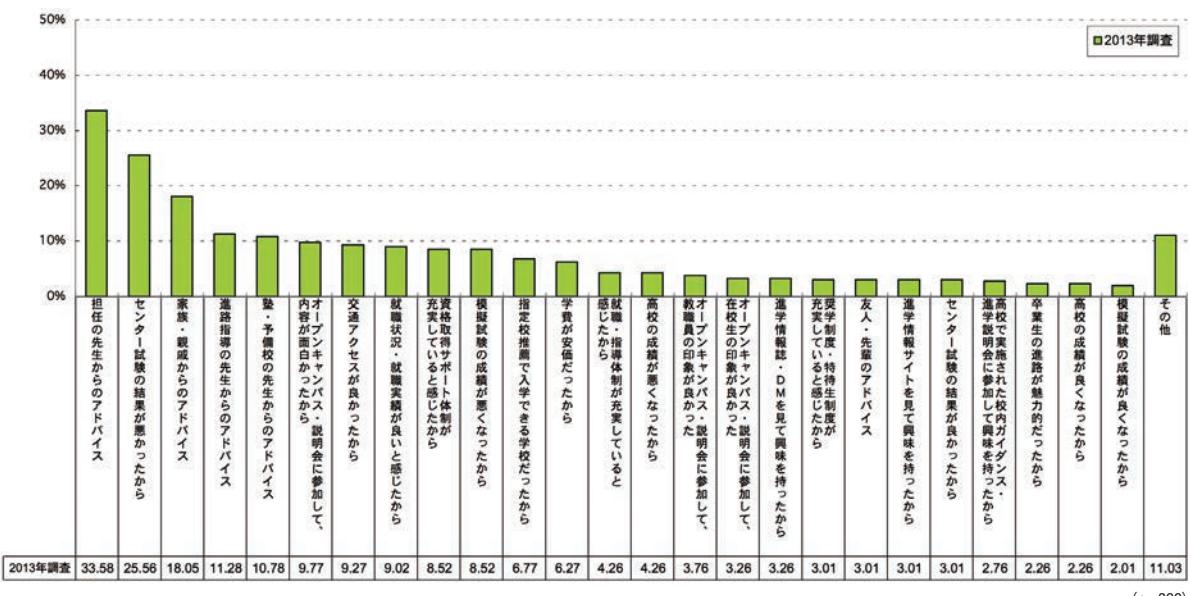
■出願予定校以外への出願に影響を与えた相手

- ・担任の先生 33.58% > 家族・親戚 18.05% > 進路指導の先生 11.28%
> 塾・予備校の先生 10.78% > 友人・先輩 3.01%

■出願予定校以外への出願経験（単一回答）



■出願予定校以外へ出願した理由（複数回答）



進学先の検討スケジュール

■高校卒業後の進路を考え始めた時期は「高校入学前」、 具体的に学校を比較検討し始めた時期は「高校3年1学期」、 出願校を決定した時期は「高校3年2学期」が最も多い

- ・高校卒業後の進路を考え始めた時期は、1位「高校入学前」(21.34%)、
2位「高校2年夏休み」(12.15%)、3位「高校2年1学期」(11.51%)。
- ・具体的に学校を比較検討し始めた時期は、1位「高校3年1学期」(29.98%)、
2位「高校3年夏休み」(21.02%)、3位「高校3年2学期」(13.59%)。
- ・出願する学校を決定した時期は、1位「高校3年2学期」(40.69%)、
2位「高校3年夏休み」(20.38%)、3位「高校3年1学期」(18.07%)。

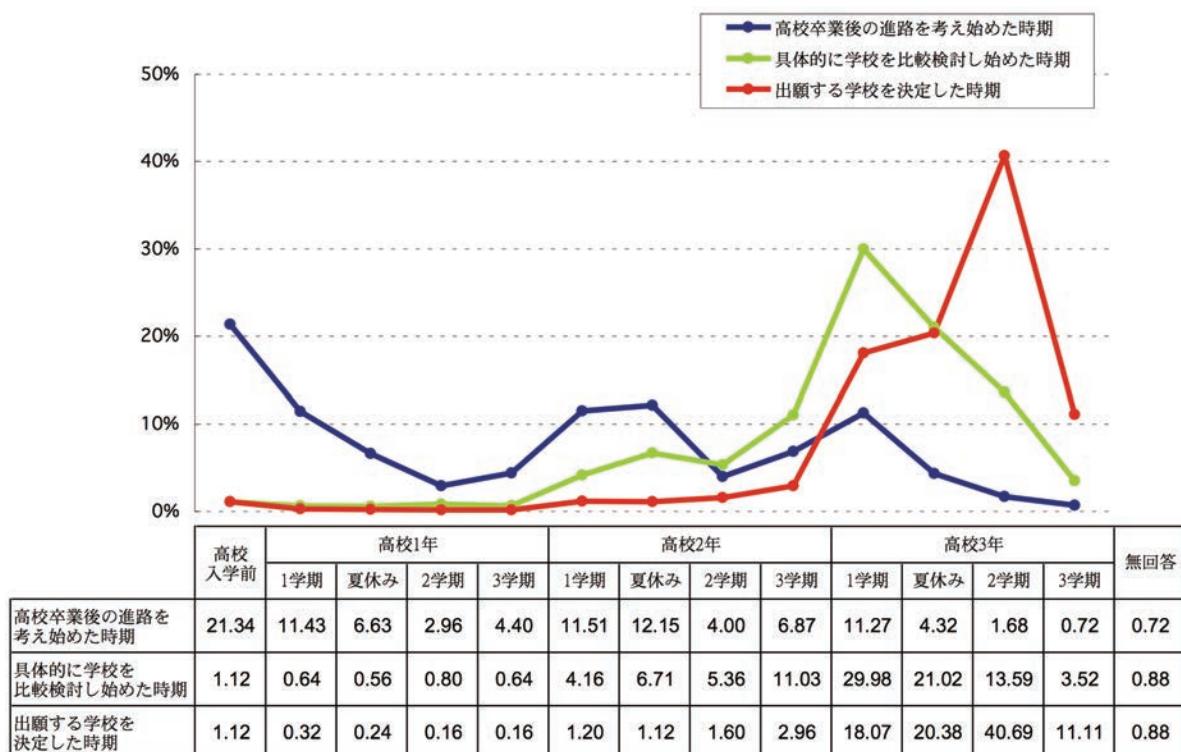
■「高校2年3学期」の時点では、具体的に学校を比較検討しているは3割、 出願校決定は1割弱

- ・「高校2年3学期」の時点で、具体的に学校を比較検討しているのは31.02%、出願校を決定しているのは8.87%。

■「高校3年夏休み」の時点では、具体的に学校を比較検討しているが8割、 出願校決定は5割弱

- ・「高校3年夏休み」の時点で、具体的に学校を比較検討しているのは82.01%、出願校を決定しているのは47.32%。

■進学先の検討スケジュール（各単一回答）



入学先で学んでいる学問分野

■男子の1位は「経済学」、女子の1位は「看護学」

- ・男子は、1位「経済学」(14.34%)、2位「経営学」(9.29%)、3位「法学」(7.27%)。
- ・女子は、1位「看護学」(8.33%)、2位「栄養・食物学」(6.34%)、3位「法学」(5.07%)。

■男子は、2011年調査から上位3位の顔ぶれ変わらず

- ・2013年 1位「経済学」(14.34%)、2位「経営学」(9.29%)、3位「法学」(7.27%)。
- 2012年 1位「経済学」(11.52%)、2位「経営学」(8.16%)、3位「法学」(7.59%)。
- 2011年 1位「経済学」(13.04%)、2位「経営学」(8.43%)、3位「法学」(8.06%)。

■女子は「看護学」が、2011年調査から2年連続で増加

「法学」が、前年調査より増加し3位に

- ・「看護学」2011年 6.80% → 2012年 7.23% → 2013年 8.33%と、2年前から1.53ポイント増加。
- ・「法学」2012年 6位(3.78%) → 2013年 3位(5.07%)

■入学先で学んでいる学問分野（上位15位）

【男子】



【女子】

